

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 510

事務事業名	中学校体育大会開催事業(県中総体)	
基本目標	010202	人を育むまち
政策		豊かな学力と生きる力を育む教育の充実
施策		小・中学校教育の充実
関連施策		

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	教育委員会		
課名	学校教育課		
課長名	丹野平三	内線	365
担当者名	坂田幸広	内線	376

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

会計	一般会計	
款	10	教育費
項	01	教育総務費
目	02	事務局費
事業コード	110000	

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	市内中学生県大会出場選手(代表チーム選手及び個人選手)		
意図 対象をどのような状態にしたいか	県中学校総合体育大会出場を目指し、積極的に運動を行うことで、体位体力の向上を図ると共に、個人及び団体においてスポーツ精神をかん養する。また、健康の保持増進のための実践力の育成と明るく豊かな生活を営む態度を育てる。なお、代表となった選手の保護者の経済的負担軽減を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	県中学校総合体育大会に市内大会を経て代表となった選手の輸送費、練習費の一部及び事務費等の派遣事業費を市中学校体育連盟に補助金として交付する。		
事業期間	年度 ~ 平成	年度	実施方法 補助
根拠法令、要綱等	県中総体選手派遣補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考
活動指標 ①	県大会参加者数	計画値	430	430	430	430	
		実績値	425	430	442		
		達成度	%	98.8%	100.0%	102.8%	
活動指標 ②		計画値					
		実績値					
		達成度	%				
成果指標 ①	県大会上位入賞団体数	計画値	5	5	5	5	
		実績値	8	5	9	2	
		達成度	%	160.0%	100.0%	180.0%	
成果指標 ②	県大会上位入賞者数	計画値	40	40	40	40	
		実績値	44	50	26	24	
		達成度	%	110.0%	125.0%	65.0%	

年 度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	2,317	2,869	3,361	3,407	5,157	3,407	3,407	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他								
一般財源	2,317	2,869	3,361	3,407	5,157	3,407	3,407	
② 人件費(千円)	1,699	1,661	1,561	1,454	事業内容	事業内容	事業内容	備考
職員人数(人)	0.20	0.20	0.20	0.20	平子区総口 体育大会・駅 伝大会・新人 大会・全国大 会の開催委 託	中学校総合 体育大会・駅 伝大会・新人 大会の開催 委託	中学校総合 体育大会・駅 伝大会・新人 大会の開催 委託	
時間外勤務(時間)	55	75	75	0				
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	4,016	4,530	4,922	4,861				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組を しましたか(昨年度の【ACTION】の改善・ 改革の進捗等)	県中学校総合体育大会に市の代表として参加することにより、生徒の運動部活動の充実・発展や競技力向上につながっている。また、代表となった選手の保護者の経済的負担軽減も図られている。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	県中学校総合体育大会に市の代表として参加する生徒が対象であり妥当性がある。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	義務教育に関わる生徒が対象であり関与は妥当である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	出場チームの状況により、県大会参加者数は減少しているが、県大会において、上位入賞を果たしているだけでなく、大会に参加し切磋琢磨する中で、健全な心身の育成に効果を上げている。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	種目によっては加入者の少ない運動部もあり、フルエントリーできない種目もあるが九州・全国大会等で活躍する選手が出るなど、心と体の一体化がおりなす集中力、努力する心が生徒たちに根付いている。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	県中学校総合体育大会は、義務教育の一環であるのでこれ以上の保護者への負担増は避けたい。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入しておりません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持	
--------	------	--

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	義務教育の一環として開催される大会であるので、現状のまま維持する。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等	生徒の心身の健全育成において不可欠である。		内容		

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。